

株式会社横浜フリエスポーツクラブ

株式会社横浜フリエスポーツクラブの「横浜FCアウェーで行う試合に関する選手の移動」でのカーボン・オフセット

サッカーチームである横浜FCが2014年度にアウェーで行う試合に関して、選手が横浜から試合会場まで移動する際に係るCO2排出量をカーボン・オフセットする。CO2排出量の少ない移動手段の選定など削減努力を促進し、残ったCO2排出量についてJ-VERを活用してオフセットを実施した。



取組の概要

サッカーチームである横浜FCが2014年度にアウェーで行う試合に関して、選手が横浜から試合会場まで移動する際に係るCO2排出量をオフセットする取組み。但し、バスの場合：ニッパツ三ツ沢球技場からアウェー会場まで、飛行機の場合：羽田空港からアウェー試合実施地の最寄の空港まで、鉄道の場合：横浜からアウェー試合実施地の最寄駅までとする。本取組は2014年度の取組み紹介として、試合会場にいる来場者に対して本取組みのアピールを行う。使用するクレジットは試合会場各地域の県産オフセット・クレジットを使用し、試合地域での地産地消のカーボン・オフセットを実施する。

オフセットの分類	自己活動型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
取組の実施時期			
クレジット	クレジットの種類	J-VER	
	プロジェクトの種類	森林吸収系	
	プロジェクトの名称	森林・林業日本一の町をめざす住田町の間伐プロジェクトなど	
	プロジェクト実施地	岩手県住田町など	
オフセット量	49 tCO ₂		
無効化日	2015年1月19日		
販売数、参加者数等	-		
価格、参加費、クレジット費用の負担	-		
オフセット・プロバイダー	カーボンフリーコンサルティング株式会社		
オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力		
対象：バスの移動に係る燃料使用、鉄道の移動に係る燃料使用、飛行機の移動に係る燃料使用	株式会社横浜フリエスポーツクラブはアウェーの試合における選手の移動に関して、CO2排出量の少ない交通機関の選定等を行っている。		
取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点		
宣伝	宣伝へと繋がるように工夫した。		

【問い合わせ先】
株式会社横浜フリエスポーツクラブ